

がんばる! 市民のちから

市民団体
活動紹介 No. 13

NPO法人 伊達ウズベキスタン農業交流会

【所在地】伊達市伏黒字南屋敷41番地

【連絡先】583-3630 【代表者】富田健一郎さん

このコーナーで活動を紹介させていただく市民団体を募集しています。
問い合わせ 市民生活部市民協働推進課コミュニティ係 ☎575-1177

研修員を受け入れ、農業交流

私たちは、平成13年にウズベキスタンを訪問し、果樹栽培状況などを視察しました。

ウズベキスタンでは、果樹栽培が綿花と並ぶ主産業でありながら、栽培技術や品質改良が遅



スピードスプレイヤー

れており、技術などの支援をしないと考えました。

そして、平成14年に伊達町の農業交流として研修性2人を3カ月間受け入れたのが活動のきっかけです。

また、平成17年から3年間のJICA（国際協力機構）の草の根技術協力事業として、農業研修員を受け入れました。

果物の場合、3年間で成果を出すことは難しく、そのため事業が平成20年度からの3年間追加継続され、平成22年度まで事業が続くことになりました。

この事業の継続を機会に、平成20年6月にNPO法人を設立しました。

平成20年8月、NPO法人の最初の事業として、JA伊達みらいや伊達市の協力を得て、スピードスプレイヤー（防除機）3台をウズベキスタンに贈りました。

また、毎年2〜4人の研修員を約3カ月間受け入れています。ウズベキスタンでは、主にモモ、リンゴを栽培しており、研修員の受け入れは、モモの栽培時期の5月〜7月に行っています。

研修では、果樹栽培に重要な摘果、摘果、袋掛けなどの作業や反射シートを利用した栽培方

法、収穫、選果、発送、環境に配慮した木酢液を使用する方法、インターネットを使った販売などを指導しています。

また、毎年2回、当協会の果樹栽培指導者が現地を訪問して、5月は袋掛けと薬剤防除、11月はせん定、炭焼き（木酢液の採取）の現地指導をしています。

私たちは、この事業を発展させ、将来は伊達市とウズベキスタン国フェルガナ州コカンド市と姉妹都市の提携もできればと考えています。

農業を通して支援を



スピードスプレイヤーの
出発式

ウズベキスタンの貨幣価値は日本の10分の1で、生活面でも遅れている部分があります。

私たちは、世界一であるとする日本の農業技術を伝えて、1度だけの交流ではなく継続して交流と指導をしています。

ウズベキスタンは農業国でありながら、農業が機械化されていません。スピードスプレイヤーなどの農業機械が少ないので、今後も継続して農業機械を贈りたいと考えています。

●会員を募集しています

現在、当NPO法人の会員は約60人ですが、一人でも多くの方に会員になっていただき、支援していただきたいと思います。

お気軽にご連絡ください。

入会金：5,000円 年会費：5,000円

問い合わせ・申し込み先

副理事長 佐藤孝雄 ☎583-4736



伊達市での研修の様子：モモの夏季せん定（左）、共選場でモモの出荷（右）

